

カキツバタ咲き誇る のどかな島



鳥羽から東へ約0.6kmのところ浮かぶ坂手島は、『大同本紀』に「佐加太伎島」と記載され、『内宮儀式帳』には「酒滝島」とあることから、サカタキの語が転じてサカテになったといわれています。集落は東南部に集まり、わずかに段々畑が残るのどかな風景が広がる島です。5月中旬から6月にかけて、アヤメ池には紫色の美しいカキツバタが咲き誇り、島の風物詩として多くの人々を魅了します。また、船着場にあるタブノキは市の天然記念物に指定され、4、5月頃になると、枝先に黄緑色の小花をつけ、訪れる人々を温かく迎えてくれます。

本土に近いので、他の島だけでなく本土の見晴らしも楽しめ、知る人ぞ知る鳥羽湾の絶景スポットの島です。

鳥羽市観光案内所	0599-25-2844
鳥羽市観光協会	0599-25-3019
鳥羽ビジターセンター	0599-25-2358
伊勢志摩バリアフリーツアーセンター	0599-21-0550
鳥羽市歴史文化ガイドセンター	0599-25-8255
インフォメーションセンター遊民	0599-28-0001
鳥羽市定期船課	0599-25-4776

発行 鳥羽市観光課
〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽3丁目1-1
TEL 0599-25-1157 FAX 0599-25-1159
URL <http://www.city.toba.mie.jp/>
平成31年3月 作成



素敵なスポットが
いっぱい!

ウォーキング

マップ

walking
map



ウォーキングマップ

坂手島

SAKATESHIMA

所要時間
約1.5時間

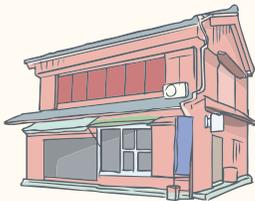
坂手島のアヤメ池

浅間山の中腹にある小池。5月中旬から6月初旬にかけて咲き誇るこの池のカキツバタは色鮮やかなことで知られ、株分けをして他へ移植しても元のような色は出ないと言われています。湿地を好むカキツバタが離島で群生することは珍しく、昭和44年に鳥羽市の天然記念物第1号となった。島の人達はこのアヤメ池を愛し、町内会や町民有志による手入れや清掃が行われている。



江戸川乱歩の妻・お隆さんの生家

ピンク色の壁が印象的な江戸川乱歩の妻・お隆さんの生家。鳥羽の造船所に勤めていた江戸川乱歩は、社内誌「日和」を編集する傍ら、同僚らと「鳥羽お伽会」を結成し、それが縁で坂手小学校の教師をしていたお隆さんと出会い大正8年に結婚しました。



若宮神社

島の集落の奥にたたずむ産土神。明治41年に島内の10ほどの社が合祀され、若宮神社と称するようになりました。「年越し」や「7月の天王祭」、毎月1日の「月次祭」などには、多くの島民がお参りしています。



島をゆっくり歩くと
たくさんの自然を
感じるよ。

アヤメ池

浅間山の中腹にある小池。この池のカキツバタは色鮮やかなことで知られ、盛りのときは鳥羽城からも遠望できたと伝えられている。

若宮神社

島の氏神。
まさかあかつかはやびあめのおしほみのみこと
正哉吾勝勝速日天之忍穂耳命、
あめのひのみこと
天穂日命を祀る。

林昌寺

観音堂に、かつて坂手の漁師が海から拾い上げた木造聖観音菩薩坐像が安置されている。

タブノキ

定期船のりば前に立つ高さ15mほどの4本のタブノキ。大木の群集は珍しく、市の天然記念物になっている。

旧坂手小学校

校庭から眺める鳥羽湾の風景が美しい。島のビュースポットのひとつ。

姫の浜

倭姫命が上陸したと伝わる。かつてはこのあたりに集落があった。

村万商店 (お隆さんの生家)

広場の一角にあるかつての雑貨商。江戸川乱歩の妻・隆さんの生家。

市水産研究所

昭和39年に設置された市の水産研究所。ワカメや黒ノリなどの種苗研究や養殖の指導などを行っている。